

救急車内から心電図を医療機関に伝送

心疾患早期診断可能に

豊橋ハートセンター 豊橋市にシステム8台寄付

豊橋ハートセンター（豊橋市大山町）は、救急車内で計測した心電図を病院に伝送できるシステム8台を同市に寄付した。6日、市役所で贈呈式があった。

システムは、救急
隊員が計測した12種

類の心電図波形のデータ
一タを画像にして、

メールでタブレット
型端末から病院に送
信する。

医師は病院のパン
コンなどで受信し、
救急車の到着前に治
療の準備を始めるこ
とができ、一刻を争

う心疾患の早期診断
に効果を発揮する。
機器の価格は1台1
50万円。

贈呈式で、豊橋ハ
ートセンターの鈴木
孝彦院長は「救急隊
にとって画期的なシ
ステム。現場と病院
がぐっと近くなり、
救急のレベルが上
がる」と期待。

佐原光一市長は
「しっかりと使わせ
てもらいます」と応
えた。

同市は病院との調
整や救急隊員の研修
などを経て、9月9
日からの本格運用を
目指す。



システムの仕組みの説明を聞く佐原市長（左）と鈴木院長（右）（豊橋市役所で）

（中嶋真吾）